

## 瀬居で生まれ育った喜びと誇りのもてる小中連携活動の推進

ねがい

### 〈 目的 〉

200年以上前から伝わるお大師市とそこに流れる「お接待」の心を継承し、ここで生まれ育った喜びと誇りをもつことが大切であると考え、小中が連携して取り組んでいくことにしました。

### 〈 内容 〉

#### ● 小中合同の廃品回収や地域清掃活動

6月と12月の廃品回収や9月の清掃活動には、小中で協力し合い、保護者や地域の人々とともに地域のボランティア活動を行いました。生徒会が行っているプルタブ・エコキャップ回収活動にも、地域の方の協力を得て、たくさん集めることができました。清掃活動では、通学路の清掃をしたり、海岸に流れ着いたゴミを集めたりしました。



【廃品回収をしている様子】

#### ● 幼小中と地域が合同で行う運動会・文化祭

運動会と文化祭は、幼小中と地域が合同で行っています。運動会での幼から小へ、小から中へ、中から地域へとつながるリレー競技は、絆をいっそう強くしました。また、文化祭での幼小中と地域の方が合唱する「ふるさと」は、地域の中の一員としての気持ちを再認識するものでした。合同行事を通して、幼小中・地域がつながりを深くし、瀬居町全体で一つのことをやり終えた充実感を味わうことができました。



【幼小中が宣誓をしている様子】

#### ● 夏休み小中ものづくり教室

夏休みに行われたものづくり教室では、地域の方々が講師となり、回る灯籠、びっくり箱、コサージュ、スライムなどを作成しました。小学生と中学生がいっしょにものづくりを体験することはほとんどありません。今回は、中学生が小学生を教える場面も見られました。児童・生徒は、小学生から中学生へと成長する過程とお互いのつながりを実感するとともに、地域に支えられ、育てられているという喜びを味わう1日となりました。



【小中ものづくり教室の様子】

高まり

### 〈 成果 〉

このような活動を通して、小中学生がお互いに対話をし、小学生はこんな中学生になりたい、中学生は小学生の模範になりたいという自覚が生まれました。近くに住んでいて顔見知りではありましたが、以前より深くわかり合うことができ、幼・小・中・地域が一つにつながりました。地域の方の優しさに包まれながら、ここで生まれ育った喜びと誇りをもてた瞬間です。